

一番怖い災害は「地震」91.3%！ 災害の危険を認識している人のうち、防災対策は半数以下！

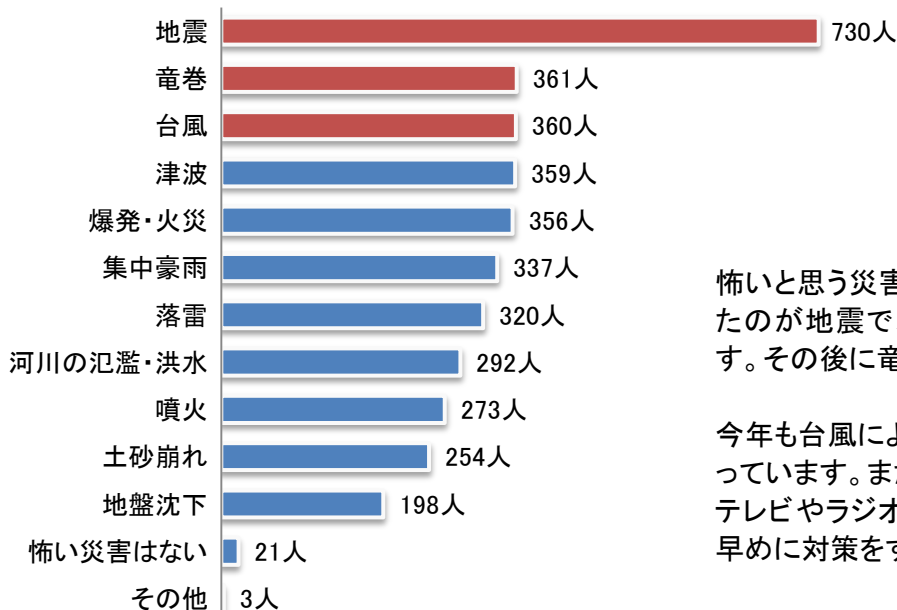
9月1日は「防災の日」です。東日本大震災や熊本地震などの大地震や毎年のように起きる台風や大雨による水災など、いつ自分の身の回りに災害が起こるか分かりません。保険ショップ『保険クリニック』は、防災の日を前に20歳～60歳の800人(男性400人、女性400人)を対象に、防災についてアンケート調査を実施いたしました。

■調査結果概要

- ・災害に対する意識 : 91.3%が「地震」が怖いと回答。次いで竜巻、台風、津波 (Q1)
- ・居住地域の危険度 : 「とても危険」「やや危険」32.7%、「どちらかといえば安全」「安全」41.9%
危険・安全の判断基準にハザードマップを見た人は2.1% (Q2)
- ・災害に対する備えの有無 : 災害に対する備えを「している」42.1%
危険と思っている人の備えは46.9%、安全と思っている人の備えは44.8% (Q3)
- ・備えをしている内容 : 「非常用の食糧等」80.7%、「電池やバッテリー、懐中電灯等」60.2% (Q4)
- ・備えに対する意識 : 「防災の日」を機に備えをしたい人は28.1%
備えたい内容は、「非常用の食糧等」69.2%、「家族との連絡方法の決定」66.9%、
「家族との集合場所の決定」64.6% (Q5)
- ・保険の加入状況 : 74.9%が災害時を補償する保険に加入。
内容は「火災保険(水災補償あり)」「火災保険(水災補償なし)」「地震保険」がほぼ同数。
心配が大きい地震保険の加入者は269人で、火災保険の48.7%、全体の33.6% (Q6)

■調査結果抜粋

Q1. あなたが怖いと思う災害は何ですか。(いくつでも)



怖いと思う災害について聞いたところ、最も多かったのが地震で、91.3%の人が怖いと回答しています。その後に竜巻や台風、津波と続いています。

今年も台風による水害や突風の被害が各地で起こっています。まだまだ、台風シーズンです。テレビやラジオなどの情報をこまめにチェックして早めに対策をすることが必要です。

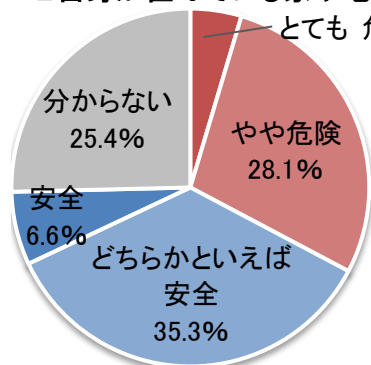


【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本・長渡

TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

Q2. ご自身が住んでいる家や地域は危険だと思いますか。

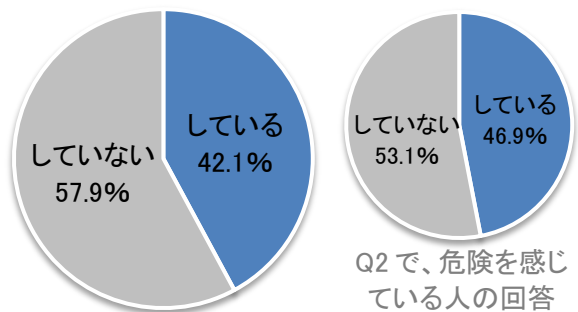


危険だと思う理由	安全だと思う理由
<ul style="list-style-type: none"> ・大震災に遭っているから ・山が近い、裏が斜面 ・川や海が近い ・地盤が弱い ・過去に浸水しているから、など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域的に防災に力を入れているため ・川、山、海から遠い ・歴史上あまり大きな災害が起きた記録がない ・活断層がないから ・なんとなく、など

ご自身が住んでいる地域や家が危険かどうか聞いてみました。「とても危険」「やや危険」と回答した人は 32.7% (262 人)、「どちらかといえば安全」「安全」と回答した人は 41.9% となりました。

また、危険か安全かの判断に、地域のハザードマップや地質調査等を基にしていると回答した人は、17 人で全体の 2.1%にとどまりました。

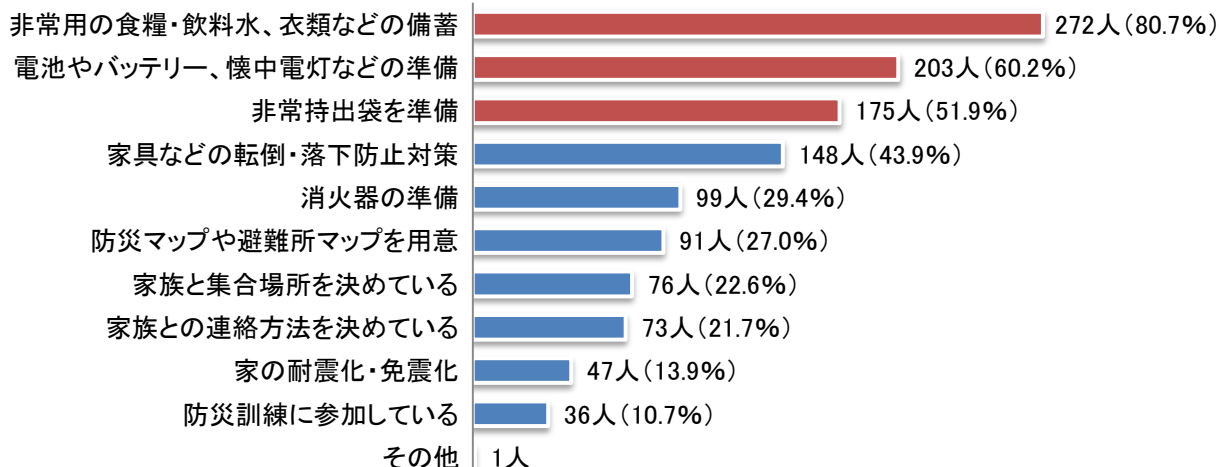
Q3. 災害に対する備えをしていますか。



災害に対する備えをしているか聞いたところ、「している」と回答した人は 42.1% (337 人) でした。

Q3 で危険を感じている 262 人の中でも備えをしている人は 46.9% (123 人) と半数以下で、安全と感じている人の備えが 44.8% である事と比べてもあまり差がなく、危険だと思っても準備が出来ていない人が多いことが分かりました。

Q4. 災害に対する備えは何をしていますか。(いくつでも)

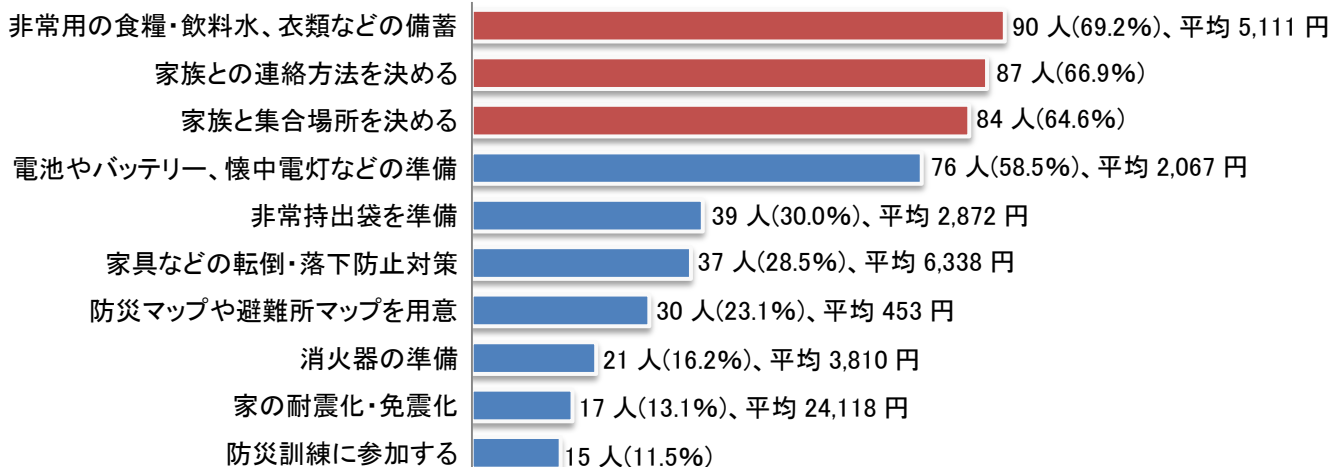


災害に対する備えをしている 337 人に何をしているか聞いてみました。

1 位は「非常用の食糧・飲料水、衣類などの備蓄」80.7%、2 位は「電池やバッテリー、懐中電灯などの準備」60.2%、3 位は「非常持出袋を準備」51.9% となりました。家族との連絡方法や集合場所を決めている人が少ないことが分かりました。

【本件に関するお問い合わせ】
IRRC 株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本・長渡
 TEL: 03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp

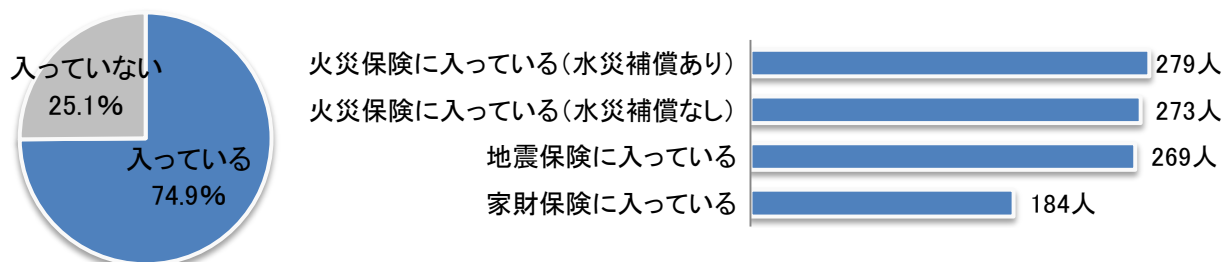
Q5. 何を備えたいですか。それを備えるのにいくらくらい使いますか。(いくつでも)



災害に対する備えをまだしていない 463 人に「防災の日」を機会に備えをするか聞いたところ「したい」と回答した人は 130 人(28.1%)と少ないことが分かりました。

またそのうち、備えをしたいと回答した 130 人に備えたい内容とそれにかける金額について聞いてみました。1 位は「非常用の食糧・飲料水、衣類などの備蓄」69.2%でかける費用の平均は 5,111 円となりました。「家族との連絡方法を定める」、「家族と集合場所を決める」と続いています。

Q6. 災害時を補償する保険に入っていますか。(いくつでも)




災害の備えには物などを準備するだけではありません。もしもの時に保険金が支払われる保険に加入することも備えに繋がります。

被害に遭った時を補償する保険に加入しているか聞いたところ「入っている」と回答した人は 74.9%(599 人)でした。ただ、一番怖い災害と思っている地震に対する保険に加入されている人は 269 人で、火災保険に加入している人の 48.7%にしか付加されておらず、全体の 33.6%でした。

■調査方法

サンプル数 : 男女 800 人
 年 齢 : 20 歳～60 歳
 調査方法 : Web アンケート
 調査期間 : 2016 年 8 月 10 日～8 月 18 日

※本リリースの調査結果や分析をご利用いただく際は、『保険クリニック調べ』と明記ください。

	【本件に関するお問い合わせ】
	株式会社アイリックコーポレーション 広報宣伝部 山本・長渡
	TEL:03-5840-9561 E-mail: branding@irrc.co.jp